

目指せ！最年少技術士！！ 工業高校でも実施しています 「技術士を知ろう！ In 北海道札幌工業高校」

1. はじめに

「技術者のミライ研究委員会」(ミライ研)にて運営等を担当している「技術士を知ろう！」ですが、2021年度の活動第4弾は、北海道札幌工業高等学校(札工)の2年生を対象に実施しました。

今回は青技交幹事である高田技術士の紹介により、札工OBでもある北海道開発局 旭川開発建設部の矢野雅昭技術士の協力も得て実施しています。

2. 実施概要

講演日時：2021.11.17(水)9:50～11:40

講義内容：技術士資格の説明、制度概要等

技術士の仕事内容と役割(講演2編)

3年生との取組事例紹介

対象者：北海道札幌工業高校 土木科2年生72名

参加者：小澤、永井、塩見、千葉(記)

(ミライ研4名)、矢野(一般協力1名)

3. 技術士資格の説明、制度概要等

北海道札幌工業高校での「技術士を知ろう！」は、まず小澤技術士より、技術士資格の説明として技術士の役割、資格取得方法、持つことのメリット等を説明したほか、社会人になってからの仕事をする上での資格取得の重要性等の説明を行いました。

自身の会社での待遇等も交えた説明に加え、道外ですが同じ工業高校で第1次試験に合格している事例を紹介すると、自分たちにもすぐ取り組めるものだということを認識してくれたようでした。

小澤技術士ですが、マスク越しの対面講演会も大分慣れてきたようで、眼力も駆使して生徒に訴えかける講演技術は、さすがのテクニックでした。

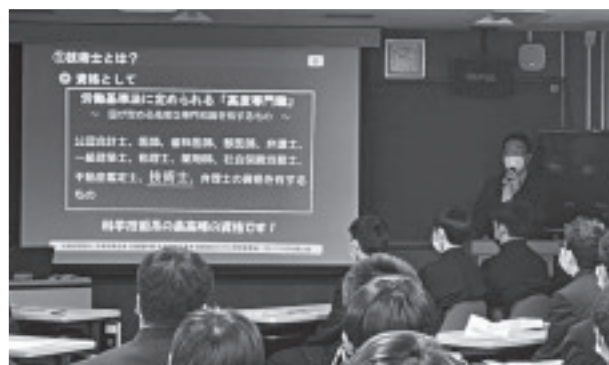


写真-1 ナチュラルビズで親近感を演出する小澤技術士

4. 技術士の仕事内容と役割

(1) 技術士の仕事(矢野技術士)

まずは札工OBでもある矢野技術士から、関わってきた仕事の紹介をしました。

自分の職歴を交えて公務員(北海道開発局)という立場で取り組んでいる仕事、研究所での経験や大学進学、博士号の取得等も紹介し、その中で技術士という資格の役割や重要性などを説明しました。

矢野技術士ですが、勤務先からオンラインでの講演となりましたが、冒頭から札工当時の柔道着姿の写真や「札工体操」等のキーワードを盛り込み、生徒達の視線を釘付けにしていました。



写真-2 画面越しでも身近に感じた矢野技術士

(2) 技術士の仕事(塩見技術士)

続いて荒井建設(株)に所属する塩見技術士から、「建設会社で必要な資格ってなに? 技術士がいると現場は変わるか?」と題した講演を行いました。

技術士がいる現場では、自ら対策を提案でき、不具合も未然に防止できることを伝えてくれました。

塩見さんは「技術士を知ろう!」講演は初めてだったのですが、さすがの貫禄で、あっという間に生徒達の注目を引き付けていました。

また、札工生はゼネコン系に就職する割合が高いため、自身の将来をグブらせながら聞いてくれていた生徒達も多かったのではないかと思います。



写真-3 いつの間にか引き込まれてしまう塩見ワールド

5. 3 年生との取組事例紹介

講演最後は、合同会社 LinC(リンク)に所属する永井技術士から対象学生の 1 年先輩である、札幌工業高校の 3 年生と協働で取り組んでいる事例を紹介しました。4 年前からスタートした、札幌市内の広場活用に関する取り組みに関するもので、地域の方々の思いを形にするという課外授業のような位置づけで実施しているものです。

対象の広場では実際に 3 年生が測量、丁張り、施工等を担当。今年は広場のマスコットキャラクターである「モッチー」を広場に描くために、77 枚の石版の施工を行いました。その 3 年生の学生数名が 2 年生に取り組み内容を紹介し、学校で勉強したことを実社会に適用する面白さや難しさを 1 年先輩が説明したことで、授業を受けていた 2 年生の学生も、いろいろ考える機会になったようです。



写真-4 後輩達への想いを語る 3 年生

6. 質疑応答

参加メンバーが学生からの質問に回答する質疑応答では「仕事を選ぶ上で一番大事だと思うことはなんですか」、「資格を取得したことによって、責任やプレッシャーはありますか」、「仕事は楽しいですか?」といった、今後の就職活動に直結するような質問や実際の仕事内容に関する質問も多く寄せられました。

7. まとめ

生徒からの感想には「今回の講演を聞いて、技術士の資格を取得して、将来建設業界で活躍したいと思いました。」「技術士、資格の大切さがあらためてわかった。会社に入っても勉強をして、資格を取らないといけなことを学んだ」等の技術士取得の動機となるようなキーワードが多くありました。

アンケートでは、有効回答数 72 人中 41 人が「技術士を今回初めて知った」「名前だけは知っていた」等だったのに対し、72 人中 33 人が「将来技術士を取得したい」と回答してくれていました。同アンケートでの今回講演の「わかりやすさ」「満足度」は 5 段階評価で 4.6、4.6 と高評価をいただきました。今回の講演会が将来を考える上での大きなきっかけになったようです。

最後に、この出前講座は川村先生、梶先生の多大なるご支援やご協力があって実施できています。この場をお借りして、改めてお礼申し上げます。